



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月10日

上場会社名 株式会社 ニチイ学館

上場取引所 東

コード番号 9792 URL <http://www.nichiigakkan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理・財務本部長 (氏名) 寺田 孝一

TEL 03(3291)2121

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

配当支払開始予定日

平成22年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	119,623	6.2	3,401	41.9	3,727	62.6	1,329	96.1
22年3月期第2四半期	112,643	6.3	2,398	—	2,293	—	677	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	19.25	—
22年3月期第2四半期	9.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
23年3月期第2四半期	122,228	—	50,516	—	41.1	—	727.99	
22年3月期	119,081	—	49,728	—	41.6	—	716.81	

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 50,276百万円 22年3月期 49,504百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
23年3月期	—	7.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	2.0	8,000	16.5	8,300	20.7	3,500	10.9	50.68

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 73,017,952株 22年3月期 73,017,952株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 3,955,761株 22年3月期 3,955,469株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 69,062,344株 22年3月期2Q 69,183,778株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定期的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新興国向けの輸出を下支えに回復基調にありましたが、急激な円高に加え、所得の低迷や厳しい雇用情勢が続いており、先行きは不透明な状況にあります。

ニチイグループを取り巻く事業環境におきましては、平成24年の介護保険制度改正に向けた議論が5月より始まり、24時間在宅介護サービスの本格導入や介護従事者の処遇改善に加え、財源確保に向けた給付と負担の見直し等、社会保障改革に向けた議論が進められております。

このような事業環境の中、ニチイグループでは、「豊かな人間生活の向上に貢献」すべく、安全・安心なサービスの提供に向けた社内研修制度の更なる強化に取り組むとともに、eラーニングや音声認識技術等を活用した生活者の視点に立った新サービスの開発・提供を推進してまいりました。

経営成績につきましては、ヘルスケア事業において在宅系、居住系、介護保険外の各サービス利用者数が順調に増加したことや、教育事業においては、政府による緊急雇用対策の一環として各地方自治体が推進する「『働きながら資格をとる』介護雇用プログラム」の受託（営業外収益に計上）が好調に推移したこと等により、引き続き増収増益基調を辿りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は119,623百万円(前年同期は112,643百万円)、営業利益は3,401百万円(前年同期は2,398百万円)、経常利益は3,727百万円(前年同期は2,293百万円)、四半期純利益は1,329百万円(前年同期は677百万円)となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりです。

なお、今期よりセグメントごとの費用負担額の配賦基準を一部見直ししております。

<医療関連部門>

医療関連部門につきましては、売上高では、契約適正化の推進により、1病院あたりの売上高が拡大したことに加え、病院において新規契約獲得が堅調に推移したことにより増収となりました。利益面では、セグメント間での費用配賦率の変更や健康保険料率の引き上げによる費用増等により前年同期比で減益となりました。

新サービスの展開につきましては、4月の診療報酬改定において医師の事務負担軽減に向けた加算項目の新設・再評価がなされ、当社においても医師事務作業補助者の配置を積極的に推進するとともに、音声認識技術を活用した新たな医師事務作業補助サービス『サイバークラーク』を一部エリアで開始いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は51,213百万円(前年同期は50,435百万円)、営業利益は2,951百万円(前年同期は3,680百万円)となりました。

<ヘルスケア部門>

ヘルスケア部門につきましては、在宅系介護サービスでは、ケアプラン作成、訪問介護、通所介護等の介護保険サービス利用者数が好調に推移したほか、障がい福祉サービスや家事代行サービス等の介護保険外サービスの利用者数も増加基調を辿り、収益改善に寄与いたしました。

居住系介護サービスでは、各施設において入居者数が順調に増加しており、特にニチイホームにおいては営業活動の強化や、価格帯変更等の取り組みの成果として入居者数が増加しており、安定した収益基盤が構築されつつあります。

新規事業所の開設状況につきましては、在宅系介護サービスでは訪問介護事業所（訪問入浴介護事業所含む）数が1,000事業所を突破し、居住系介護サービスでは、4月から9月までにグループホームを6事業所開設し、累計290事業所となりました。10月以降につきましては、グループホーム9事業所、有料老人ホーム1事業所の新設が計画されており、地域のサービスニーズに合致した事業所の整備に取り組んでおります。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は61,126百万円(前年同期は53,592百万円)、営業利益は3,102百万円(前年同期は731百万円)となりました。

<教育部門>

教育部門につきましては、主力講座である「ホームヘルパー2級講座」「医療事務講座」の受講生数は、昨年比では減少となったものの、医療・介護分野においては、雇用創出に向けた緊急雇用対策事業が各自治体により実施されており、当社においても「『働きながら資格をとる』介護雇用プログラム」や基金訓練の受託を積極的に推進したことで、安定して推移いたしました。

9月にグランドオープンしたニチイのeラーニング講座『Webカレッジ』につきましては、医療・介護分野にとどまらず、多様な学習ニーズに対応する新たな教育事業基盤を構築すべく、新規講座の開発に注力するとともに、TVCMの放映や、各種イベントへの出展によるPR活動にも注力いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は7,073百万円(前年同期は8,333百万円)、営業利益は1,043百万円(前年同期は1,923百万円)となりました。

<その他>

その他の部門につきましては、グループでの事業効率化を図るとともに、新たな事業展開を推進しております。株式会社ニチイグリーンファームで運営している千葉県茂原市の「レイクウッズガーデン ひめはるの里」では、平成23年4月上旬のグランドオープンに向け、ガーデニングセラピー、アニマルセラピー等の主力事業とのシナジーが期待される新サービスの開発・提供準備を進めております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は209百万円(前年同期は282百万円)、営業利益は5百万円(前年同期は185百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期の総資産は、前連結会計年度末に比べ3,147百万円増加し、122,228百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加などにより流動資産が1,266百万円増加し、有形固定資産の増加などにより固定資産が1,880百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ2,359百万円増加し、71,711百万円となりました。主な要因は、短期借入金や未払費用の増加などにより流動負債が2,509百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ788百万円増加し、50,516百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の連結業績予想につきましては、平成22年5月17日に発表した連結業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

・簡便な会計処理

たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げにあたっては、収益性の低下が明らかな、たな卸資産についてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・会計処理基準に関する事項の変更

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益がそれぞれ42百万円減少し、税金等調整前四半期純利益が546百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は1,196百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,128,303	4,128,264
受取手形及び売掛金	29,425,451	28,554,508
商品及び製品	421,204	341,091
仕掛品	17,477	2,356
原材料及び貯蔵品	206,836	204,690
その他	8,260,512	7,971,467
貸倒引当金	△62,944	△72,066
流動資産合計	42,396,840	41,130,312
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,122,791	26,163,653
その他(純額)	11,067,814	11,045,267
有形固定資産合計	38,190,606	37,208,921
無形固定資産		
のれん	14,047,528	14,530,389
その他	5,459,937	4,500,173
無形固定資産合計	19,507,465	19,030,562
投資その他の資産		
その他	22,872,916	22,430,040
貸倒引当金	△739,311	△718,751
投資その他の資産合計	22,133,604	21,711,288
固定資産合計	79,831,677	77,950,773
資産合計	122,228,517	119,081,085
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	773,790	940,792
短期借入金	1,818,002	1,018,002
未払法人税等	2,297,726	2,350,522
未払費用	14,475,522	13,906,413
賞与引当金	4,583,930	4,199,857
役員賞与引当金	19,900	34,000
その他	13,034,386	12,044,256
流動負債合計	37,003,258	34,493,845
固定負債		
長期借入金	22,108,318	24,002,119
退職給付引当金	4,340,663	4,133,049
役員退職慰労引当金	153,748	149,221
資産除去債務	1,212,440	—
その他	6,893,333	6,574,526
固定負債合計	34,708,506	34,858,917
負債合計	71,711,764	69,352,763

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,933,790	11,933,790
資本剰余金	17,354,214	17,354,214
利益剰余金	27,827,145	26,912,370
自己株式	△6,788,946	△6,788,705
株主資本合計	50,326,203	49,411,670
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△49,387	92,759
評価・換算差額等合計	△49,387	92,759
少数株主持分	239,936	223,893
純資産合計	50,516,752	49,728,322
負債純資産合計	122,228,517	119,081,085

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	112,643,552	119,623,409
売上原価	89,917,886	95,685,813
売上総利益	22,725,666	23,937,596
販売費及び一般管理費	20,327,577	20,535,625
営業利益	2,398,088	3,401,970
営業外収益		
受取利息	14,518	55,702
受取事務手数料	58,752	57,552
受取賃貸収入	68,513	89,602
雇用創出事業受託料	—	227,424
その他	72,337	229,797
営業外収益合計	214,121	660,079
営業外費用		
支払利息	264,352	279,823
社債利息	3,307	—
賃貸費用	30,901	25,336
その他	20,602	29,506
営業外費用合計	319,163	334,667
経常利益	2,293,046	3,727,383
特別利益		
固定資産売却益	43,528	210
過年度償却債権取立益	69,757	—
賞与引当金戻入額	—	111,148
投資有価証券売却益	—	5,119
特別利益合計	113,286	116,478
特別損失		
固定資産除却損	11,265	28,792
投資有価証券売却損	120,945	—
事業整理損	7,392	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	504,813
その他	—	5,716
特別損失合計	139,602	539,321
税金等調整前四半期純利益	2,266,730	3,304,540
法人税、住民税及び事業税	2,141,511	1,953,541
法人税等調整額	△573,534	1,306
法人税等合計	1,567,977	1,954,847
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,349,692
少数株主利益	21,029	20,542
四半期純利益	677,723	1,329,149

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。